平成元年７月　第34号

東京都社会保険労務士会 千代田・中央支部 会報

事務局　〒104 東京都中央区銀座1-13-4　大槻経営労務管理事務所内
東京都社会保険労務士会 千代田・中央支部　☎03(535)5006　発行人　大槻哲也

支部長の就任にあたって

大槻　哲也

浅学非才の私が，はからずも平成元年度の支部長という大役を仰せつかることになりました。

会員数667名（４月30日現在）と，全国一の大規模を誇る組織の長に就くということは，若輩の私にとって大きなプレッシャーであり，あらためて責任の重さを，身をもって痛感しております。

幸い，仲野前支部長の思いやりのある心くばりと，会員みなさまの力強い後押しに支えられ無難なスタートをきることができ，何はともあれ宇宙戦艦に乗りこんだ，わが千代田・中央支部軍団は，夢とロマンを求めて旅立つことになりました。

軌道から外れて不時着することのないように，そして２年後には一段と飛躍したスケールの大きな軍団として帰着できるよう，最善を尽くす決意であります。

さて，社会保険労務士業務は，労働・社会保険諸法令に基づく書類の作成，手続および相談，指導のほか，さらに賃金や労働に関する事項，人事・労務管理等が，全て専門業務として含まれています。

これらの業務は，年々その範囲が拡大され，かつ複雑多岐化の傾向にあります。

たとえば，社会保険，労働保険等の５人未満事業所の適用促進，労働時間短縮の推進と完全週休２日制，変形労働時間制，フレックスタイム制の導入，労働災害の防止対策，過重負荷による過労死問題，パートタイマー労働対策，外国人労働者，人材派遣，高年齢者雇用促進，公的年金と老後の生活設計，OA 化等々直面する課題は山積しております。

社会保険労務士が，これらの課題に対応していくには，もはや一匹狼的な意識や行動では困難が予想されます。

組織化された集団（グループ）で対応していくことが有利であることを認識する必要があるのではないでしょうか？

いわゆる，個は永久に１であり，組織化することによって，１が３や５の力になるということです。

また，これらの課題は，開業のみならず，勤務等の社会保険労務士であっても，各人が所属（勤務）する企業等だけに限らず，日常の経済的，社会的の中で関わっていかざるを得ないものと考えられます。

したがって，今後はますます開業と勤務等が協同して，共通の課題として取り組んでいく必要があると思います。

具体的な対応のしかたや，取り組みの方策については，支部や各部会が開催する例会および研修会の場を通して，知恵を出し，汗を出し，意見を出しあって大いに議論をすれば，自ずと妙案は引き出せるはずです。

そのためには，例会，研修会等の内容をより一層充実させることであり，会員みなさまが出席率を高めていただくことです。私も，夢は大きく行動は手堅く，足が地に着いた支部活動を推進していく所存です。

就任のご挨拶

支部会長　沢崎　　舜

このたび，はからずもみなさまのご推せんにより，多数の先輩方そして適任者がおられるにもかかわらず，７月２日の都議選，同23日の参院選等の選挙の年に若輩かつすべてに未経験の私が千代田・中央支部の政治連盟の支部会長に選任され，今さらながらその職務の重責に身の引きしまる思いであります。

当支部は開業，勤務等企業内会員数合わせて667名と，東京都社会保険労務士の中でも他に例をみない大支部であり，その活動も業績も研修会に講習会等に名実ともに輝かしいリーダーシップを発揮されているところであります。

ご案内のように，昭和43年に施行された社会保険労務士法は，労働および社会保険の法令の円滑な実施，事業の健全な発展と労働者等の福祉の向上のため寄与し，昨年めでたく20周年を迎え，まさに成人に達し自覚も責任の度合いも従前にも増してその重さが加わっております。

現在，21世紀の高齢化社会のピークに向けて，社会保障の役割も機能も国民の多種多様なニーズに積極的に対応して，高質な社会サービスを提供していくことが求められております。

外国人労働者の受け入れの可否の問題をはじめ，第３次産業を中心とするパートタイマーの雇用等，その就業構造も雇用の形態も変化しつつあり，これらに対応した賃金，人事，労務の業務は複雑，多様化して一段と難しさを増しております。

このような時にこそ，常に品位があって，法令および実務に精通した社会保険労務士が希求され，果たす役割も重要性を増しています。

企業も所詮は時代に適応して生きていかねばなりません。同じパラダイム，同じ競争のやり方，変わりない組織と人が10年も20年も適用する時代は遠くへ去ろうとしています。

社会は単一なるものから豊富さを求め，機能や便利さだけでなく，人間の知・情・意に働きかけてくる新しい価値を期待しているように思えます。

〝贅沢は敵〟から〝贅沢は素敵〟の時代，〝遊びの中に働きがあり，働きの中に遊びがある〟というような思考の時代が近いのかも知れません。

いま，外も内もこれまで沈んでいた石が浮かび，これまで浮かんでいた木の葉が沈むほどの変化に直面しています。ソ連はゴルバチョフのペレストロイカ，中国は民主化のうねり，そして内にリクルート等々，政治も社会も文化も既存の概念や仕組みが大きく崩れ，新しい息吹が聞えてくるようです。

このような時にこそ，当政治連盟の設立の趣旨に沿った，法律改正等の推進母体としての活動が必要でしょう。みなさま方のご指導とご協力を心からお願いし，ご挨拶といたします。

千代田・中央支部機構と委員会分掌業務表

支部長　大槻　哲也　(535)5006

監査　手塚　和男　(551)3523　森　才一　(542)6726

副支部長

沢崎　昇　(581)1231
千賀　綾二　(241)5672

総務委員会

1. 会員の掌握，連絡に関すること
2. 文書の起案，発受信保管等庶務に関すること
3. 関係官庁等渉外に関すること
4. 金銭出納，予算，決算等会計に関すること
5. 諸会議の開催
6. その他，他の委員会に属さない一切の事項に関すること

委員長	渡辺　和洋	(574)7572
副委員長	小林　昭男	(253)6966
〃	赤森　伸子	(543)2069
委員	仲野　三郎	(265)0301
〃	古川泰一郎	(263)1781
〃	橋高　正風	(553)3255
〃	雨宮　功	(863)7633
〃	長森　敏泰	(264)6871
〃	石原　健三	(294)5307

田島　守　(544)2882
金綱　久夫　(291)4167

研修委員会

1. 研究会，講習会等の企画・立案及び開催
2. 社会保険労務士業務の改善に必要な調査及び研究
3. 社会保険労務士業務に必要な資料，情報等の収集に関すること
4. その他教育，調査研究に関すること

委員長	恩田　和明	(256)4451
副委員長	田中　功	(264)3438
〃	森萩　忠義	(865)9521
委員	清水　克己	(264)4331
〃	玉上　信明	(286)8688
〃	浅香　博胡	(252)1654
〃	新堀　英行	(254)1955
〃	小口　隆明	(532)1534

岡本　晃一　(862)7541
相馬　誠一　(251)5141

広報委員会

1. 支部会報の企画・立案及び発行に関すること
2. 社会保険労務士に必要なＰＲに関すること

委員長	榊原　昭夫	(265)2611
副委員長	山本　弘之	(263)0931
〃	森　莞子	(233)4488
委員	島田　久	(862)7068
〃	牧野　武夫	(542)8611
〃	山崎　雅也	(669)0677
〃	吉瀬　君江	(534)0294

岩田　省一　(660)3032
松林　清雄　(553)9601

厚生委員会

1. 懇親会等の企画・立案及び開催に関すること
2. 旅行会等レクリエーションに必要な企画・立案及び開催
3. 会員のコミュニケーションに関すること

委員長	田島　義雄	(572)7481
副委員長	石川　宏	(255)7671
〃	新井　功一	(230)1751
委員	熊谷　和夫	(265)7516
〃	葛西　毅	(861)7291
〃	冨田　秀子	(564)3470
〃	横尾　直子	(234)5274

（順不同・敬称略）

円滑な運営に努力

総務委員長　渡辺　和洋

支部の役員を一度も経験したことのない若輩の私に，総務委員会を担当するようにとのお話があり，職責の重大さを充分に認識する余裕のないままにお引受けすることになりました。

改めて「抱負は？」と聞かれても，まだ右も左もわからない状態で，とにかく「やるっきゃない」という心境です。

幸い，委員会のメンバーには前任の総務委員長をはじめとして，引続き総務を担当していただける委員の方々が多くおられますので，みなさまのご協力により円滑な支部運営ができますよう努力したいと思います。

支部運営を支えていくためには，まず財政基盤を確立しなければなりませんが，本年度の本部からの交付金は前年度なみの見込みです。

したがって，各部会・委員会の担当者のかたには諸物価の値上がりにもかかわらず，前年度なみの予算で事業の運営をお願いしなければなりませんが，よろしくご協力のほどお願いいたします。

また，会員のみなさまには研修会，講習会，厚生事業等への参加にあたって受益者としての一部負担をお願いする場合もございますが，このような状況をご賢察のうえ，各行事への積極的な参加をお願いいたします。

時間帯・課題も検討

研修委員長　恩田　和明

今般，研修委員長を担当することになりましたが，金綱前委員長のもとで副委員長としておりながら，名委員長に全くおんぶに抱っこできたため，正直なところ困ったなという感想です。

この2～3年，乞われるまま「まあいいか，何とかなるだろう」くらいの気持で社労士会の役を仰せつかり，役員の末席を汚してきましたが，ここに至って引き返すもならず進めずの心境です。

若いからやれるとか，馬力があるから大丈夫との励ましをいただき，本当は柄にもないと内心思っているわけでして，割り切れない思いであります。

この際，励ましよりご協力のほうをよろしくお願いしたいと思います。

ともあれ，第1回研修委員会を開催したところ，二部会員のためにもっと出席しやすい時間帯や，研修課題の設定をしたらとの意見があり，もっとものことと思います。

ただ講師の都合，各種支部行事と共催で研修会も開催するなど困難な面もありますが，可能な限り夜の部での研修を実施していきたいと思います。

また研修課題については，労務人事の3号業務関係を中心にし，一般常識，異業種界のかたの話など，引き続きよい前例を踏襲してまいりたいと思いますので，格別のご協力をお願いして抱負に代えさせていただきます。

会員の声を反映させて

副支部長　厚生担当　　岩田　省一

去る３月28日の支部大会において，はかられて（？）副支部長，厚生担当ということを仰せつかりました。

わが社会保険労務士会千代田・中央支部には，立派な先輩が多数いらっしゃるのに，なぜか私にオハチが廻ってきました。

厚生活動といっても，支部活動の中でどのように仕事があるのか，現在までの活動を参考にして，これからを見つめていきたいと思います。

事業計画のなかに，「会員相互の親睦を目的とした事業を実施し，和の精神の高揚に努める」とあります。会員の各位におかれましても，それぞれの職場があり，その職場での厚生事業があるものと思います。となると，私どもで行う厚生とはどのような目的にたって行い，どのような行動がよいのか正直に迷います。親睦を目的にして現在まで行ってきたものを，とりあえず行っていくなかで，改良すべきもの，また新しいものがあれば，会員各位の声を反映させながら行事としてとりあげていきたいと思います。

とにかく，この支部の今までの活動を踏襲していくなかで，新しくなにか趣向を見出すことができるかどうかお手上げの状態です。何はともあれ，行事に参加することにより，常にいろいろな人と接触して，吸収するものを見つけていくことが，資質の向上につながり，コミュニケーションの場が活きることになると思います。どうか会員各位におかれましても，何かご意見・ご希望がありますればお寄せいただければ幸いです。

委員会報告

〈総務委員会〉

第１回正副支部長・委員長会

４月14日，電設健保会館において開催。

(1)報告事項

イ．東京都社会保険労務士会諸会議の結果について

ロ．昭和63年度部会・委員会収入支出決算報告について

(2)協議事項

イ．役員の担当編成について

ロ．平成元年度の予算配分について

ハ．平成元年度第一四半期の事業計画について

ニ．東京都社会保険労務士会第11回通常総会代議員の推薦方依頼について

第２回正副支部長・委員長会ならびに第１回正副支部長・幹事・監査会

５月10日，電設健保会館において開催。

(1)報告事項

イ．東京都社会保険労務士会諸会議の結果について

ロ．部会ならびに委員会の活動状況について

ハ．第１回正副支部長・委員長会の結果について

(2)協議事項

イ．第１回研修会の開催について

日時　平成元年６月14日(水)15：00

ロ．第２回研修会の開催について

日時　平成元年７月12日(水)13：30

場所　電設健保会館

テーマ　算定基礎届の手続き他

ハ．算定基礎届相談コーナー打ち合せ会

研修会終了後引続き，麹町・神田・日本橋・京橋の各社会保険事務所適用第一課長と打ち合せを行う。

等を協議し決定した。

第一部会長就任のご挨拶

第一部会長　金　綱　久　夫

このたび第一部会の皆様方のご推薦により、第一部会長に就任いたしました。相馬前部会長同様、皆様方のご支援とご協力をお願いいたします。

社会保険労務士制度も満20周年を過ぎて、いよいよ成人としての活動が期待されています。千代田区、中央区という都心で仕事をしている私たちはいちばん良い環境に恵まれていると思います。この利点を生かし、かつ現状に甘えることなく、力を合わせて、制度改善のため、またお互いの事務所発展のために努力していきたいと思います。どうかよろしくお願いいたします。

部会の新しいスタッフは、次のとおりです。

● 第一部会の機構について

部会長	金綱久夫	291-4167
副部会長	千賀綾二	241-5672
同	松林清雄	553-9601
同	相馬誠一	251-5141

総務委員会	委員長	山崎雅也	669-0677
	副委員長	石川英豊	541-4550
	委員	横尾直子	234-5274
	同	吉瀬君江	534-0294
	同	雨宮　功	867-7633
業務推進委員会	委員長	森萩忠義	865-9521
	副委員長	中林政雄	543-2069
	委員	渡辺やす江	574-7572
	同	松原敏明	543-2069
厚生委員会	委員長	新井功一	230-1751
	副委員長	国岡喜久	261-5653
	委員	森　才一	542-6726
	同	山下大九郎	258-5476

● 第二部会の機構について

部会長	沢崎昇	581-1231
副部会長	榊原昭夫	265-2611
運営委員	田島守	544-2882
同	岡本晃一	862-7541
同	岩田省一	660-3032
同	田中功	264-3438
同	石川宏	255-7671
同	小林昭雄	253-6966
同	田島義雄	572-7481
同	葛西毅	861-7291

やじきた
旅遊記
そのII

恩田和明

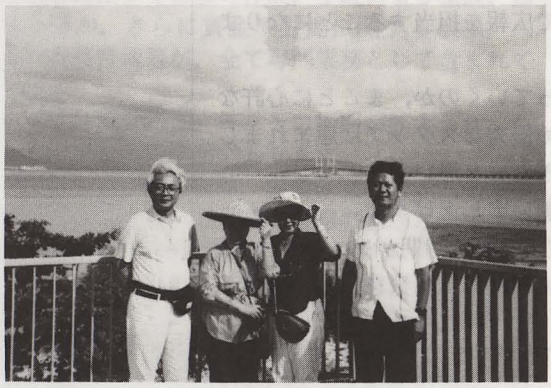
翌日は蘭園でランの花を堪能，待たせたタクシー（料金は日本の５分の１）は高速で市内に戻る。ゴンドラに乗ってセントーサ島に渡る。長森さん持参の青森特産のリンゴがここで食堂を経営し，日本語ペラペラの黄さんに贈られた。長森先生って本当にマメな人だと思う。お陰でタダビールをご馳走になり，急ぎとって返し，次の訪問地ペナン行きの飛行機に乗る。

ペナン島はマレーシアの保養地。蛇寺とか日本企業が落札に負け韓国が建設したペナンブリッジで有名。ヤシの木に囲まれたラササヤンホテルに入る。夜の食事は屋台風パブへ。

昼間はいない露店が帰りの歩道に連らなって，ここでは大っぴらに本物に近い時計，バッグが並んでいる。それも大変安いのである。どこで生産されたのか不思議である。

翌朝，旧若者たちは蝶園とバティク見学に，現若者の私はパラセイリングに挑戦，ロープ１本で空に浮かび，海上をさ迷う。上から見るバトウーフェリンギは，山が海岸に迫り，小さな村である。この付近は海とヤシとホテルだけ，さすがに日本人観光客は少ない。その分，白人観光客が多い。ほとんどオーストラリア人で，夫婦連れの中年が目立つ。みなプールの傍に寝そべって本を読むか，目をつむって寝ている。

ガツガツ泳いでいるのは俺たちだけだネ，と笑い合う。



そのうち，夜店で買ったヤシの葉のカサがよく似合うセッちゃんが，この帽子を脱ぎ捨て，海辺のバレーボールの仲間に入った。やっぱ若いネ…余暇らしくなったネと男ども。

夕方，極楽寺とペナンヒル登山に出かけ，山頂からすばらしいペナンの夜景を見た。あいにくすぐにガスがかかり気温も下がって，薄いシャツ姿で震える。帰りに本格的な？屋台に寄り，オカマの九ちゃんのような現地歌手が歌うナツメロを聞くうち，またも食べ過ぎてしまう。

その夜，長森さんが部屋の天井を見たかと聞く。不思議な矢印が刻まれている。回教徒が多いこの国では，礼拝用にメッカの方向を教えているのだそうだ。そう言えば，中国系ガイドの柯・ジミーがタマネギ坊主とバカにしていたモスクがやたら目についたが，人種の数だけ宗教もあるし，差別も区別もある。でも表面仲良くやっている多民族国家の人たちに，近い将来見習う日が来ると思った。

翌朝，純屋台で食事をしていると，港の金ヤンこと金田事務所の一行と遭遇。ン？女性軍と若者がいない！　見れば所長と次長だけ。他は？…屋台嫌だって！…納得…。

今日は最後だからノンビリしようということで，プールサイドの簡易ベッドに横になった。しかしよくしたもの，スコールが来て慌ただしくホテルに駆け込み，寿司でも食おうか…とあいなった次第。

ともあれ，それぞれの楽しみ方で余暇を過ごした私たちはその後，再びシンガポールに１泊し，11月４日，無事成田に帰りました。

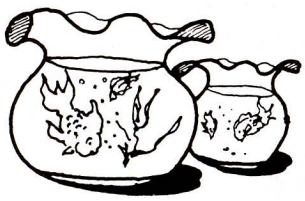
エッ？　もう一人の菩薩って誰かって？…もちろん我らが銀トミさんこと冨田秀子姉御。セッちゃんはご存じ永島セツ姉様のことです。“旅は道連れ世は情け”を地で行くことができました。同行させていただいた兄姉に感謝するとともに，我が支部だけでなく，全社労士会がこの格言のごとく発展することを祈って，話を閉じたいと思います。

会員異動状況

（単位：名）

項目／地区	平成元年1月31日現在			異動（増減）			平成元年4月30日現在		
	開業	勤務等	計	開業	勤務等	計	開業	勤務等	計
麹町	36	136	172	△1	2	1	35	138	173
神田	58	130	188	0	1	1	58	131	189
日本橋	34	117	151	1	△1	0	35	116	151
京橋	46	106	152	1	1	2	47	107	154
合計	174	489	663	1	3	4	175	492	667

都社労士会第11回通常総会で当支部会から選ばれた役員



平成元年5月30日，後楽園会館で開催された東京都社会保険労務士会・第11回通常総会において，当支部会員から次の方々が役員に選ばれました。

石原健三（会長）
仲野三郎（副会長）
古川泰一郎（副会長）
大槻哲也（常任理事）
新堀英行（常任理事）
沢崎　舞（常任理事）
岡本晃一（常任理事）
永島セツ（理事）
冨田秀子（理事）
金綱久夫（理事）
手塚和男（理事）
田島　守（理事）
田島義雄（理事）
岩田省一（理事）
小林昭雄（理事）

順不同・敬称略

あとがき

広報委員長
榊原　昭夫

森前委員長からバトンを引継いで広報を担当することになりました。

全くの素人で，これからどうやっていくのか，まことに心許ないのですが，幸い森前委員長はじめ優秀なスタッフに恵まれましたので，力を合わせて取組んでいきたいと思います。

みなさま方のご協力を心からお願い申し上げます。

まもなく盛夏。暑さとともに算定基礎届の時期がやってきます。

おたがいに多忙な日々となりますが，身体に気をつけて頑張っていきましょう。